

第17号

本小の教育「授業改善研」

5経授業

○本小授業改善『主体的・対話的な深い学び』

今回は、1 学年・出先生の「5 年経年授業」である。学級活動の内容(1)イ「学級内の組織づくりや役割の自覚」で、「2 学期の係を決める」話し合い活動を実践する。「きらきらにこにこ お友達 しゃあく かいぎ」も、今回で5 回目である。「話し合い活動」が、全ての「学級経営」の基盤となる。『支持的風土づくり』が「安心・安全」の基盤であり、「承認」「所属」へ、そして「対話的な学習」「深い学び」へと繋がっていくのである。一学期から計画的に取り組んできました。「きらきら会議」の行方を見守りましょう。

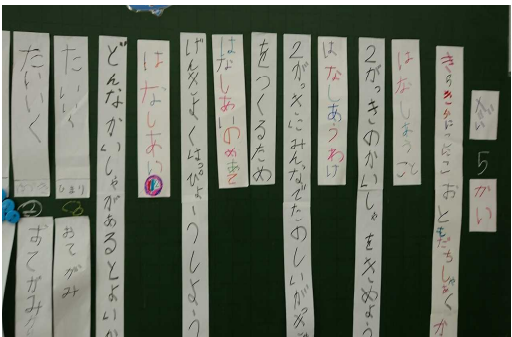
■ 1 年 2 組（学活）「 中井 出 」先生 5 校時目 [五年研]



【児童の手（学習規律）】



【教室の色（支持的風土）】



【教師の目（教師の姿勢）】



■【学習の流れ】「本時の展開」。

●授業前、全員で担任と共にゲームを行う。  
●とても良い雰囲気です。学級会が始まられそう。  
■【授業の開始】  
●司会者の女の子、副司会の男の子も上手だ。  
●これまでも何度か経験して慣れている。  
●本時の議題は「2 学期の会社を決めよう」。  
会社とは、「学級の係」のことであるようだ  
◆提案理由や、◆決まっていること、などが確認された。微笑ましい活動内容である。  
◆話し合いの「めあて」の確認。全員で復唱。これもまた素晴らしい。子ども達に復唱させることは、これはとても大切な事である。  
●今までの学級会で頑張ったことを称賛して、学級会への意欲を高めさせる「教師の話」もとても良かった。言葉遣いが柔らかい。  
■話し合うこと①「どんな係があると良いか」  
話し合うこと②「どんな係をやりたいか？」  
●短冊にマグネットを仕掛けて、各個人のやりたい「会社（係）」を記入して準備。良い  
●「全員発表させる」のに子供は飽きてきた。  
●「話し合い活動」前半は、素晴らしい内容。  
●「話し合い活動」後半は、少し工夫が必要。

■【学級の良さ・課題】を再確認。

●「児童の実態」アンケート結果より

| 【 質問項目 】       | Ye | No | どちら |
|----------------|----|----|-----|
| ①1 年 2 組は好きですか | 26 | 2  | 0   |
| ②会議をしたらもっと良くな  | 23 | 3  | 2   |
| ③学級会は好きですか     | 24 | 2  | 2   |
| ④話し合うことは大切ですか  | 25 | 0  | 3   |
| ⑤自分の意見を言えますか   | 19 | 7  | 2   |
| ⑥友達の考え、自分の考え   | 23 | 2  | 3   |

●「学級が好き」「話し合うことは大切」と思っている子供が多い。とても良い傾向。  
●「学級会では、自分の意見が言えますか」の問いに「いいえ」「どちらでもない」の子供が「1 / 3」いる。克服すべき課題。  
●「事前アンケート」で、一学期の「会社（係）」活動の課題を明確にしてあるかが疑問。  
●自分の考えを持つ「時間」設定があるかな。  
●自分の考えを言えない子供が「3 分の 1」いる中で、本時で無理に全員発表させるのは「いかがなものか」と疑問が残った。  
●本時の終盤やまとめの部分で、教師の戦略が見えなかった。明確な指示や支援が必要

■【担任の指導・戦略】を再確認。

●「本時のねらい」は、柱①「どんな係があるとよいのか」、柱②「どの係をやりたいか」であるが、達成できたであろうか？  
●自分の考えや意見を言えない子供 9 名（学級の 1 / 3）もいる。その手立てなしに全員発表へと強引に突き進んだ感がある。  
●教師の手立てや工夫（戦略）が必要であった。  
●一学期の会社（係活動）は、どうであったのか。そして二学期は、どうすれば良いのかなど「出し合う」「比べ合う」などの作業が欲しかった。  
●「学級目標」をフィルターにして、「こんな学級にしたい」「明るくて楽しい学級にしたい」など踏まえて、「どんな会社（係）」が必要だ。  
●事前に短冊を書かせていて、「体育係」に大多数が希望しているのは確認済み。それに対する教師の工夫・手立て（戦略）が、なかった。  
●学級の事を「自分事」として考える気づきのある子供達を育てたい。「相談ポスト」等、有効。  
●今後、改善点はあるが、「計画委員会」の子や司会・板書など頑張った子は成就感があった。  
●よくぞ！ここまで「話し合い活動」に取り組んでくれました。今後に更なる期待をしています。

■【当番活動】と「係活動」との違いは？

| 【 当番活動 】とは            | 【 係活動 】とは            |
|-----------------------|----------------------|
| ●「教育課程上」位置づけ無し        | ●「教育課程上」学級活動に、位置づけ   |
| ●「学級経営上」不可欠なもの        | ●「学級生活を向上・発展させる為の活動」 |
| ●「責任」を伴う              | ●「責任」は伴わない           |
| ●「当番」をやらないと学級が困る      | ●「係活動」をやらないでも学級は困らない |
| ●「創意工夫」の余地がない         | ●「児童の創意工夫」で行う。学級を楽しく |
| ●「円滑な運営」を目指し「全員、公平交代」 | ●「豊かな学級生活を創造」。成果を問わず |
| ●「教師主導」で義務を負う         | ●「児童主体」で工夫する         |

※他の学年・学級でも、「当番活動」と「係活動」とを、はき違えていませんか。再考を求む。

【感想】

「学級活動」の「話し合い活動が「対話的・深い学び」の基盤に...」。その「取組」GOOD !!

○「授業開始前、子供達を一つにしたゲーム。おう！やるな。と、関心。微笑ましい場面であった」 Good !  
○「授業開始直、子供達は『話し合い活動』に慣れているな。と、感心。司会者の子が上手だった」 Good !  
○「授業終了後、子供達は『成就感』に浸っていた。特に司会の子ども。サヨナラの挨拶が元気だ」 満足げ  
○「新指導要領、特別活動で『人間関係形成』『社会参画』『自己実現』の <3 つの視点> で資質能力を育む」  
○「普段からの、学級の諸問題や課題に気づき、声をあげる学級の環境づくり「しかけ」づくり。不断努力」  
○「1 年生達の、きらきら会議、今後も続けて、『自治的能力』を育み、学びと育ちに 繋げていって欲しい」



校長より